

十二月一日現在	人口	158,461人	人口のうごき
	(前年同期)	149,195人	
	男	80,274人	
	女	78,187人	
	世帯数	41,890戸	
	前月比	695人	
	転出 861人	転入 1,370人	
	死亡 75人	出生 261人	
	※ 転出、転入、死亡、出生は11月中の動き。		



元気に「おゆうぎ」をする園児たち（名細保育園で）

ママも安心して働けるために

保育施設を充実

クリスマスツリーを囲み、かわいい目を「クリクリ」させながら「おゆうぎ」をする園児、そしてそれをじっと見守る客席の園児とおかあさん方の顔。ことしの四月、おかあさんに手をひかれて入園した小さい園児たちも、元気に成長し、おともだちと仲よくかわいいう演技を見せてくれました。これは十二月十三日、市立名細保育園で行なったひと足早いクリスマスのひとコマです。

現在川越市には、このような保育園が公立・私立を合せて、十一カ所設置されています。そしてこれらの保育園には二歳から六歳までの未就学幼児五百八十名が保育されています。

保育園は現在の社会情勢のなかではますます重要なものになってきました。生活環境の変化で、核家族世帯はますます増加し、しかも母親が外に出て働く傾向が強くなっている現在、家庭で幼児を保育することが難しくなっています。小さい子どもを、あずけ、安心して働くためにも保育施設は、全国各地にもっともと建設しなければなりません。

福祉都市を目指す本市でも、保育園の建設には、積極的に取り組んでいます。本年五月完成した古谷保育園、そして、これから着工される脇田新町と小ヶ谷町保育園の増築工事をはじめ、新年度にも一・二カ所の新保育園を建設するよう、計画を進めています。

12月
25日
No. 253

昭和43年度一般会計特別会計の決算概要

一般会計歳入 (単位千円)

款 別	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に 比し増減
市 税	1,483,681	1,527,494	43,813
地方交付税	272,627	272,627	0
使用料及び 手数料	81,999	89,522	7,523
国・県支出金	287,441	288,694	1,253
寄 付 金	32,764	27,311	△ 5,453
市 債	327,000	257,000	△70,000
諸 収 入 及 び そ の 他	434,808	451,684	16,876
歳 入 合 計	2,920,320	2,914,332	△ 5,988

一般会計歳出

款 別	予 算 現 額	決 算 額	不用額
議 会 費	48,255	47,008	1,247
総 務 費	426,616	421,301	5,315
民 生 費	279,859	277,049	2,810
衛 生 費	281,049	277,443	3,606
農林水産業費	78,928	77,771	1,157
商 工 費	33,314	32,754	560
土 木 費	601,993	598,393	3,600
消 防 費	118,884	117,161	1,723
教 育 費	647,519	635,890	11,629
諸支出金及び そ の 他	403,903	307,927	95,976
歳 出 合 計	2,920,320	2,792,697	127,623

歳入歳出差引 121,635千円 (内91,563千円は継続費繰越額)

特別会計

会計別	区 分	予 算 現 額	決 算 額	予算額との差
国民健康保険	歳 入	473,039	468,390	△ 4,649
	歳 出	473,039	461,461	11,578
	歳入歳出 差 引 額		6,929	
下水道	歳 入	314,473	321,176	6,703
	歳 出	314,473	304,012	10,461
	歳入歳出 差 引 額		17,164	
競 輪	歳 入	2,072,841	2,093,057	20,216
	歳 出	2,072,841	2,063,929	8,912
	歳入歳出 差 引 額		29,128	
公共財産造成	歳 入	220,040	219,721	△ 319
	歳 出	220,040	219,721	319
	歳入歳出 差 引 額		0	
その他	歳 入	82,620	81,604	△ 1,016
	歳 出	82,620	79,958	2,662
	歳入歳出 差 引 額		1,646	
上水道 (収益的)	収 入	198,608	207,289	8,681
	支 出	189,135	184,409	4,726
	収入支出 差 引 額		22,880	
(期間外)	収 入	173	565	392
	支 出	439	439	0
	収入支出 差 引 額		126	
上水道 (資本的)	収 入	191,037	191,116	79
	支 出	229,949	226,463	3,486
	収入支出 差 引 額		△ 35,347	

上水道会計のうちで資本的収入額が資本的支出額に不足する額35,347千円は減債積立金3,966千円、建設改良積立金31,381千円で補てん。

一般会計の主な歳入 (別表1)

市 税	1,527,494千円	前年度対比	122.6%
地方交付税	272,627 "	"	152.5%
国県支出金	288,694 "	"	119.2%
市 債	257,000 "	"	463.1%
そ の 他	568,517 "	"	120.0%

一般会計の主な歳出 (別表2)

消費的経費 (うち人件費)	1,325,364千円	前年度対比	113.3%
投資的経費	910,108 "	"	112.8%
扶 助 費	1,019,056 "	"	168.4%
公 債 費	111,500 "	"	102.2%
繰 出 金	73,086 "	"	125.2%
繰 越 金	213,869 "	"	190.3%
そ の 他	49,822 "	"	68.2%

一般会計の主な投資的事業 (別表3)

児童遊園地設置 (3カ所)	990千円
古谷保育園建設	9,364 "
火葬炉新設	2,103 "
塵芥収集車購入 (2台)	1,790 "
し尿処理施設整備	10,523 "
失業対策事業	10,058 "
畜産経営環境整備	1,890 "
交通安全施設設置 (信号機等)	3,371 "
踏切道緊急構造改良事業負担金	14,835 "
県営事業 (道路) 地元負担金	13,990 "
建設用特殊ダンプ購入 (3台)	2,850 "
ショベルローダー購入 (1台)	2,350 "
道路舗装および防じん舗装	1,29,941 "
道路新設改良	58,118 "
三ヶ島街道新設改良	12,748 "
入間川永久橋建設	9,777 "
中・小河川排水路整備	2,486 "
県営事業 (河川) 負担金 (新河岸川)	17,051 "
土地区画整理事業	1,913 "
街路事業 (境町神明町線、笠幡上江橋線ほか)	63,871 "
都市改造事業	4,130 "
市営住宅建設 (24戸)	39,042 "
消防車購入 (6台)	12,591 "
消防施設整備 (防火用井戸、貯水そう、動力ポンプ等)	13,739 "
小学校校舎整備	7,644 "
小学校プール新設 (3校)	18,506 "
霞ヶ関小学校分校増築	21,526 "
高階小学校増築	19,092 "
仙波小学校分校建設	43,142 "
名細小学校増築	38,040 "
福原小学校体育館建設	18,000 "
中学校校舎整備	2,694 "
城南中学校体育館建設	18,395 "
大東中学校体育館建設	17,998 "
城南中学校技術科教室建設	2,698 "
高等学校施設整備	3,349 "
学校給食共同調理場建設	60,890 "
土木施設災害復旧事業	1,134 "
刑務所建設	1,75,966 "

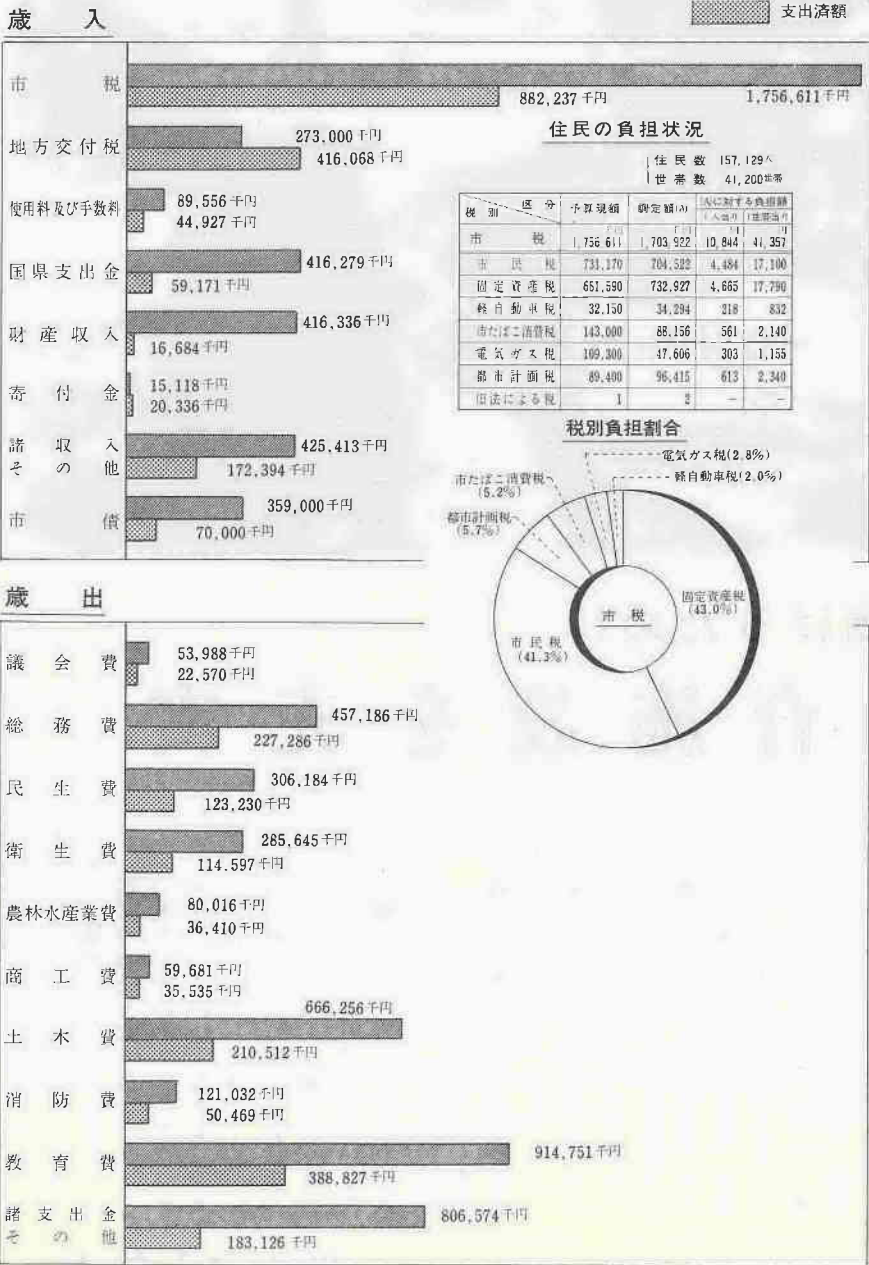
てみると別表2のようになります。
歳出のうち投資的経費の主なものは別表3のとおりです。

市財政のあらまし

＝昭和43年度決算と昭和44年度予算＝

市は、市の財政内容を、市の条例にもとづいて年二回(上・下半期)公表し、市民のみなさんに報告することになっています。
今回の公表は、昭和四十三年度の一般会計および特別会計の決算と、昭和四十四年度上半期の予算並びに予算に対する収入、支出の概況、公営事業の経理状況などで昭和四十四年九月三十日現在でしめたものです。
昭和四十三年度の決算の概要は別表のとおりです。歳入は一般会計、特別会計を合せて、六十億九千八百万円となっており、歳出は五十九億二千二百万円になっています。これを前年度すなわち昭和四十二年と比較してみますと、歳入が二五・七割、歳出では、一二・五・一割とそれぞれ大幅な伸びを示しています。
このうち一般会計の歳入を大別してみると別表1となります。
歳出について、性質別に分析し

昭和44年度一般会計収入および支出の概要



昭和44年度各会計別上半期(4月～9月)の収入および支出の概況

一般会計歳入 (単位千円 割合%)				
款	予算現額	収入済額	予算残額	収入割合
市 税	1,756,611	882,237	874,374	50.2
地方交付税	273,000	416,068	△ 143,068	152.4
使用料及び 手数料	89,556	44,927	44,629	50.2
国県支出金	416,279	59,171	357,108	
財産収入	416,336	16,684	399,652	4.0
寄 附 金	15,118	20,336	△ 5,218	134.5
諸収入その他	(21,563) 403,850	172,394	253,019	
市 債	(70,000) 289,000	70,000	289,000	19.5
歳 入 合 計	(91,563) 3,659,750	1,681,817	2,069,496	44.8

一般会計歳出

款	予算現額	支出済額	予算残額	支出割合
議 会 費	53,988	22,570	31,418	41.8
総 務 費	457,186	227,286	229,900	49.7
民 生 費	306,184	123,230	182,954	40.2
衛 生 費	285,645	114,597	171,048	40.1
農林水産業費	80,016	36,410	43,606	45.5
商 工 費	59,681	35,535	24,146	59.5
土 木 費	666,256	210,512	455,744	31.6
消 防 費	121,032	50,469	70,563	41.7
教 育 費	914,751	388,827	525,924	42.5
諸支出金及び そ の 他	(91,563) 715,011	183,126	623,448	
歳 出 合 計	(91,563) 3,659,750	1,392,562	2,358,751	37.1

※予算額欄()内書は継続費繰越額

特別会計 (単位千円 割合%)

会計別	区 分	予算現額	収入済額 支出済額	予算残額	収入 支出 割合
公益質屋事業	歳入		1,694	2,142	44.2
	歳出	3,836	1,563	2,273	40.7
国民健康保険事業	歳入		206,663	251,161	
	歳出	457,824	173,232	284,592	
下水道事業	歳入	(8,063)	104,165	281,598	27.0
	歳出	377,700	89,525	296,238	23.2
と畜場事業	歳入		7,348	5,898	55.5
	歳出	13,246	4,675	8,571	35.3
競 輪 事 業	歳入		29,425	1,844,505	1.6
	歳出	1,873,930	5,727	1,868,203	0.3
水洗便所改造 資金貸付事業	歳入		10,518	19,431	35.1
	歳出	29,949	7,381	22,568	24.6
江川流域下水 路建設事業	歳入	(330)	16,548	35,082	32.1
	歳出	51,300	35,840	15,790	69.4
高階第一土地 区画整理事業	歳入		4,622	5,188	47.1
	歳出	9,810	3,691	6,119	37.6
上 水 道 (収益的)	取入	220,050	130,631	89,418	59.4
	支出	213,180	85,198	127,981	40.0
上 水 道 (資本的)	収入	38,022	2,951	35,070	7.8
	支出	75,807	29,870	45,936	39.4
上水道期間外支出		3,553	0	3,553	0

※予算額欄()内書は継続費繰越額

昭和44年の主な市政日誌

昭和44年12月20日現在

- 1月1日 新年祝賀式(市民会館)
- 6日 消防出初式(市民グラウンド)
- 15日 成人式(市民会館該当者 3,805名)
- 16日 霞ヶ関歩道橋完成
- 22日 市議会第1回臨時会(28日まで)
- 26日 川越市献血会に初の支部「六軒町連合支部発会」(現在は121支部に)
- 27日 川越市自治協議会総会(市民会館)
- 2月12日 優良納税貯蓄組合表彰式(市民会館)
- 27日 市議会第2回臨時会(3月4日まで)
- 3月2日 第5回川越市青少年健全育成推進大会(市民会館)
- 7日 川越市消防功労者表彰(農業センター)
- 8日 古谷歩道橋完成
- 10日 久保町歩道橋完成
- 12日 市議会第3回定例会(29日まで)
- 25日 月吉団地に市営住宅24戸完成
- 26日 城南中学校体育館完成
- 4月3日 仮称南バイパス完成
- 8日 仙波小学校分校第1期工事完成
- 8日 脇田新町歩道橋完成
- 12日 川越市護国神社例大祭
- 26日 古谷保育園完成
- 5月5日 霞ヶ関北小学校第4期工事完成
- 7日 消防ポンプ車4台を購入分団に配置
- 17日 大東中学校体育館完成
- 18日 第6回ママさんバレーボール大会(市民体育館)
- 6月6日 伊佐沼しゅんせつ工事完成
- 11日 電子計算機導入
- 21日 市議会第4回臨時会(28日まで)
- 22日 青少年相談員80名を委嘱
- 7月8日 市議会第5回定例会(8月1日まで)
- 20日 高階小学校分校第1期工事完成
- 28日 福原小・中学校体育館完成
- 8月4日 川越市社会福祉大会(市民会館)
- 5日 仙波小学校分校プール完成
- 7日 川越市交通安全母の会中央大会(市民会館)
- 10日 第22回市民体育祭水泳の部はじまる
- 23日 学校給食センター完成
- 26日 八幡橋完成
- 28日 仙波小学校分校第2期工事完成
- 29日 川越市婦人会館建設工事着工
- 9月1日 中央公民館完成
- 2日 仮称東バイパス完成
- 14日 市長選・市議補欠選(即日開票)
- 20日 再任された加藤市長初登庁
- 21日 市民体育祭(地区大会、球技・陸上・スキー・スケートの部)はじまる。(45年2月9日まで)
- 10月3日 市議会第6回定例会(18日まで)
- 4日 市民文化祭はじまる(12月7日まで)
- 5日 第7回ママさんバレーボール大会(市民体育館)
- 14日 川越まつり(15日まで)
- 27日 少年刑務所完成
- 30日 市営競輪はじまる(11月1日まで)
- 30日 市美術展開催(11月3日まで市民会館)
- 31日 勤労青少年ホーム完成
- 12月1日 市制施行記念、自治功労者を表彰(市民会館)
- 1日 市営競輪(3日まで)
- 2日 消防特別点検(市民グラウンド)
- 4日 市議会第7回定例会(19日まで)



住みよい生活環境をめざし、下水道の使用可能区域も序々に広がっています。



年々増える交通事故を少しでもなくそうと、歩道橋が古谷、久保町、脇田新町、城下、うとう坂に完成。



子どもたちに健全な遊び場を。ことし菅原町、中台、緑ヶ丘、大塚新田、小堤、寿町の6ヵ所に遊園地ができました。このほか簡易児童遊園地も市内に19ヵ所完成しています。



市街地を一周する川越バイパスのうち、ことしは東・南バイパスが完成。また、境町神明町線は一部工事がはじめられています。

ひらゆる施設の建設に、本腰を入れて取り組みました。
その結果、バイパスの完成をはじめ、学校給食センター、仙波小学校および高階小学校の建設、中央公民館、古谷保育園の建設など、公共施設が大幅に充実しました。

しかし三十万都市となるためにはまだまだ十分ではありません。
市では、市民のみなさんの協力を得て市内全域が環境のよい住みよい町になるまで、明年もその翌年も積極的に施設の建設をはじめ近代都市としての施策を進めていきます。

＝ 写

昭和四十四年もあと数日でその幕をしようとしています。
この一年をふり返って見るとき国の内外で起った多くのでき事が思い出されます。そのなかでも、月面に人類がはじめて到着したことなどは世界の全人類にとって最も大きなでき事であり、記念する年でもあります。そしてこの一年は、本市にとつて

でも、また記念する年といえるかも知れません。新春とともに、人口が待望の十五万人を突破し、三十万都市へと大きな足場をつくった年でもあるからです。
建設に明け、建設に暮れたこの一年。
市では、限られた予算のなかから激増する人口に対処するため、あ



小・中学生の昼食をまかなう学校給食センターは8月に完成。近代的な施設で1日2万食の食事をつくっています。

＝ ニュース ＝

44年をふりかえって



4月からスタートした仙波小分校は、8月には第二期増築工事も完了。現在約800名の児童が毎日元気に勉強しています。



市街地のあちこちに高層ビルが進出、また郊外には工場、住宅団地がつくられ人口も著しく増加し、12月1日現在で158,461人となりました。



新しい中央公民館は、県の勤労青少年ホームと併設で9月にオープン。(1階が中央公民館)



共稼ぎの家庭が多くなっている現在では保育園は子どもたちの育成に大きく貢献しています。(ことし完成した古谷保育園)



完成した大東中体育館。このほか城南中、福原小・中共用体育館も完成しました。

冬休みに有意義に

＝家族ぐるみで生活設計を＝

学校は十二月二十五日から冬休みに入ります。冬休みは、親子の生活を学校中心から家庭中心にするよい機会です。最近よくに、忙しいという事で親子の話し合いの場が少なくなっています。この機会に家庭の生活設計を立てたり、また親子がいっしょになって清掃をしたり、勉強や仕事を離れた話し合いなどを行ない、家族どうしのきずなを強めたいでしょう。

また冬休みは、年末から正月の時期になりますので、来客があったり、お客に行ったりする機会も多くなつて生活が乱れがちになります。しかし、親は常に子どもの手本になるということも忘れずに、ふだんより気持を引きしめて行動するようにしたいものです。

冬休みの家庭指導

冬休み中に家庭では、次のようなことを実行し、家族の一員としての自覚と働くことの喜びを体得させるようにしましょう。

- ▽学年、年令に応じて家事の分担をさせる
- ▽アルバイトは、学校の先生や親と話しあつてさせる
- ▽学校からくばられる「冬休みの過ごし方」などをよく読んで生活する
- ▽親は子どものかみになることを考え、生活の姿勢を反省する
- ▽学習はふだんと同じように毎日させる
- ▽テレビを見すぎないようにする

冬休みの事故

寒いときは、からだの反射神経がにぶり思わぬ事故になることが多くあります。また食べ過ぎ、食あたりなどにも注意し、楽しい冬休みをすくすくようにしたいものです。とくに次のことに注意しましょう。

- ▽自動車、自動車などの交通事故
- ▽非行、誘惑、誘い
- ▽スキー、スケートの事故
- ▽盛り場（徘徊）

二十歳になったら 加入しよう国民年金

めでたく成人になられたみなさん、国民年金をご存知ですか。国民年金は二十歳から五十九歳までの間で、勤め先で厚生年金や共済組合などの年金に加入している方を除き、すべて加入しなければならないことになっています。また、次の方は希望によって、加入することがあります。

- ▽国民年金以外の年金を受けている方または受ける資格のある方
- ▽ほかの年金制度に加入している方の配偶者または年金制度から年金を受けられる方の配偶者
- ▽昼間の学校へ通う学生

国民年金は、老後はもちろん、思いがけない事故で障害者になったり、母子家庭などになったときに年金を受けて安定した生活ができるようにつくられた制度です。保険料は二十歳から三十四歳までは毎月二百五十円、三十五歳から五十九歳までは毎月三百円です。なお、四十五年七月からは年金に関係なく四百五十円になります。まだ加入していない方は、市役所保険年金課各出張所の窓口へ申し出て下さい。

冬の健康増進に 簡単な「歩く運動」を

冬の生活環境は、とかく運動不足におちいりがちで条件が多く、その結果、体力の低下や肥満などになりやすいといわれています。そこで、これらを克服するため、体力づくりが必要になってきますが、冬の運動というと、ほかの季節とちがって寒さや施設などの関係から非常に限定されます。そのうえ、忍耐力がよほどつよいと長続きはしないものです。しかし冬といつても、だれでも、いつでも、どこでも簡単にできる運動に「歩くこと」があります。

歩くことは、だれでも毎日行なっているわけですが、この場合は、ただ漫然と歩くことではありません。速度や間隔、または階段、坂道など、いろいろ変化をつけ、歩き方にくふうをこらして歩くことがたいせつです。

さらに、走ったり、なわとびをするなども手ごろな運動ですからやってみるとよいでしょう。なお、運動後のうがい、汗をかいた場合の下着のとりかえなどは忘れないうちにしましょう。

このような運動は、たとえわずかな時間でも、毎日根気よく続け、はじめて効果があがるものです。ですから、冬の健康増進のためにやってみてはいかがでしょう。



必ず受けよう公給領収証

従来、料理飲食等消費税は、公給領収証制度によって運営が行なわれていたが、しかし一部の業者の中には、公給領収証を交付しなかつたりまたは、正しい申告納入がなされていない状況にあります。そこで、遊興・飲食等の機会がもつとも多くなる年末年始の時期に、公給領収証制度強調運動を実施することになりました。

飲食店や料理店などを利用する方および今後これらの事業をはじめようとする方は、とくに次のような点にご協力くださるようお願いいたします。

飲食店などを 利用する方へ

みなさんが料理店、バー、飲食

なければ、ならないことになっていきますので、会計の際には公給領収証をお受け取りください。

税率の概要 料理飲食等消費税は、利用施設、利用料金によって次のとおり課税されます。

- ▽料理店、バー、キャバレー等 支払料金に対し一〇％
- ▽飲食店、旅館等 支払料金に対し一〇％

また、新たに料理店、バー、飲食店、喫茶店、旅館等の場所の経営を開

交通規制のお知らせ

▼駐車禁止（九月二十六日付）

- ①川越一丁目、新宿一丁目、七番地四号先真田たばこ店から、大下下赤坂一八五七番地先赤坂下ライオンまで
- ②川越一丁目、毛呂山線：石原町二丁目十七番地一先三田交差点から、入間郡坂戸町坂戸字上山田七六一の一番地先山田橋まで
- ③裁判所通り：喜多町四番地九号裁判所入口から、宇城下二六七五の一番地先川越バイパスまで
- ▼一方通行（十一月十八日付）
- 新富町通り
- ①北行禁止（二輪車を除く）
- 新富町一丁目一先二番一先から

連番町三番五先まで三百メートルの間

②南行禁止（二輪車を除く）

通町一八番三先から、松江町一丁目三番九先まで二百三十三メートルの間



明るい年末をおくるために

もういくつ寝るとお正月と、お子さんたちは、お正月を心待ちにしています。

楽しいお正月を迎えるため、年末を無事に過ごしたいものです。十二月は、ほかの月にくらべて犯罪もめだつて多くなります。

警察では、毎年年末警戒を行なつて犯罪の防止にあたっています。が、みなさんもつぎのことに用心してください。

- ▽まとまった現金は、なるべく手もとに置かないこと、通帳と印鑑は別に保管しておくこと。
- ▽でかける前、寝る前のカギ締り、戸締まりは、必ず点検する。

もういくつ寝るとお正月と、お子さんたちは、お正月を心待ちにしています。

楽しいお正月を迎えるため、年末を無事に過ごしたいものです。十二月は、ほかの月にくらべて犯罪もめだつて多くなります。

警察では、毎年年末警戒を行なつて犯罪の防止にあたっています。が、みなさんもつぎのことに用心してください。

- ▽まとまった現金は、なるべく手もとに置かないこと、通帳と印鑑は別に保管しておくこと。
- ▽でかける前、寝る前のカギ締り、戸締まりは、必ず点検する。

むずかしいな!!

なれない手つきでモチをつく泉小の子どもたち。同校のPTAが計画したモチつきもこととして2回目、珍らしいモチつきに子どもたちは、大喜びでした。



山田地区の合同七五三

11月25日山田中学校体育館で、合同七五三が行なわれました。この催しは、昭和28年頃から続けられています。ことしの該当児は56名でした。

労働大学講座を開催

県では、労働問題の正しい理解と認識を高める目的で、次のとおり労働大学講座を開きます。

- ▽日時 四月二十五日（月）二十八日（木）三月十二日まで（毎週三日間）
- ▽延二十日間（午後六時～八時）
- ▽場所 川越地方庁舎大会議室
- ▽定員 八十名
- ▽資格 県内の労働者、使用者（男女、年齢、学歴を問いません）
- ▽受講料 無料
- ▽内容 容労働情勢、国際経済の動向と日本経済、賃金と生産性、労務管理、労働時間や休日・休暇の問題点、争議行為をめぐる法律問題、不当労働行為の法理その他
- ▽申込み 受講申込書に所定事項を記入し、一月二十日までに川越労政事務所または県庁労政課へ申し込んでください。（申込書は川越労政事務所および県労政課にあります。）

朝出かけるご主人に.....

おくまから心づかい

たばこは市内で買ひましよう

新装の中央公民館で 映画をどうぞ

中央公民館では、毎月第3土曜日に映画の夕べを開きます。新春第1回は、文化財欄を上映します。みなさん、お誘いあわせ、ご来館ください。入場は無料です。

なお、毎月上映するプログラムは、「広報川越」でお知らせします。

第1回 映画の夕べ

- と き 昭和45年1月17日(土)午後6時30分～8時30分
- と ころ 川越市中央公民館
- 内 容 文化財欄
 - ① 埼玉の無形文化財
 - ② 法隆寺
 - ③ 日本の古墳
 - ④ 松本城

身体障害者自立 職業訓練生募集 促進のための

東京身体障害者職業訓練校では、昭和45年4月の入校生を募集中です。入校を希望される方は、もよりの職業安定所(身体障害者の係)へご相談ください。

■訓練コース

- ①事務(経理簿記)、②機械製図(設計、製図)、③時計(分解、組立、修理)、④木工(インテリアを含む)、⑤塗装(金属、木工)
- ⑥製くつ(男女各種くつ)、⑦洋服(男子服専科)、⑧洋裁、⑨和裁、⑩編物(6カ月)
- ⑪義肢装具、⑫刻印

■募集期間

昭和44年11月11日～45年3月7日

◎くわしいことは、東京身体障害者職業訓練校(☎小平(0423)―(41)1411代)へおたずねください。

農業講座・農家婦人講座

と き 農業講座 1月16日、17日、19日、21日
婦人講座 1月20日

と ころ 川越市農業センター

◎この農業講座、婦人講座へ出席を希望される方は、1月7日までに関係農協へ申し込んでください。

第10回 小・中学校児童 生徒美術展

期 日……昭和45年1月
会 場……各教育事務所
展 示……小学校＝もよう、デザイン、粘土、彫塑、工作
中学校＝デザイン、彫塑、工芸
※多数の方々が、ぜひ一度、鑑賞ください。

「ふるさとの歌まつり」 —公開録画—

NHK浦和放送局では、川越市の協力を得て「ふるさとの歌まつり」の公開録画を行ないます。この公開録画を観らんご希望の方は、1月17日までに必着するよう往復ハガキで、浦和市常盤6-1-21、NHK浦和放送局「ふるさとの歌まつり」係宛お申込みください。抽せんのうち入場券をさしあげます。

と き 昭和45年1月29日 午後6時30分開場
と ころ 川越市市民体育館

内 容 三田明(予定)ほか人気歌手をゲストに迎え川越市を中心とした埼玉県内の郷土芸能を全国に紹介 司会・宮田 輝
— NHK浦和放送局 —

■大井電報電話局から■

高階、南古谷、福原地区にお住いの方は、大井電報電話局で電報をお届けしています。電報についてのお問い合わせは、☎61-2994へどうぞ。



危険物収集日

(昭和45年)

- ▼1月12日…郭町1・2丁目、宮下町1・2丁目、志多町、喜多町、元町1・2丁目、大手町、幸町、仲町
- ▼1月14日…高階全地域、今泉、古市場、木の目、並木、牛子
- ▼1月19日…三光町、田町、六軒町1・2丁目、中原町1・2丁目、末広町1～3丁目
- ▼1月21日…連雀町、松江町1・2丁目、新富町1・2丁目、通町
- ▼1月22日…三久保町、久保町、西小仙波町1・2丁目、小仙波町1～5丁目、月吉町
- ▼1月26日…脇田町、南通町、菅原町、富士見町、仙波町1～4丁目
- ▼1月28日…宮元町、神明町、石原町1・2丁目、上野田町、野田町1・2丁目、東田町、脇田新町、今成町、小室町、小ヶ谷町、広栄町
- ▼1月29日…脇田本町、旭町1～3丁目、新宿町1～6丁目、岸町1～3丁目
- ▼2月4日…郭町1・2丁目、宮下町1・2丁目、志多町、喜多町、元町1・2丁目、大手町、幸町、仲町
- ▼2月5日…三光町、田町、六軒町1・2丁目、中原町1・2丁目、末広町1～3丁目



ぼくらの作文
ない思い出の多い明るく楽しいクラスにした
いと思っています。

わたしたちのクラス

泉小六年 田中 康子

わたしたちの学級は、ほかの組より仲が良いので、とても明るく楽しい。だけどやっぱり問題がある。それでこの間、学級会でも「明るい学級にするには」という議題で討議をした。はつきりとした結論は、出なかったが、問題になったのは、「グループを作ると、仲間はずれがでる」ということだ。遠足の時や遊んでいるときもなんとなくクラスがいくつかにわかれてしまう。こんなことがかかげて悪口をいったりすることになるのだと思う。これでは、せっかくの仲よしの組がまとまりがなくなってしまうのではないか。話し合いの結果休み時間には、遊びをきめて、みんながそれに、参加することにしたというところになった。わたしは、明るくというのは、心がとけ合っているなんでも相談できるような組のことをいうのだらうと思う。あと三カ月で卒業、わすれられなく楽しいクラスにしたいと思っています。



小仙波貝塚跡

小仙波町の台地から大宮街道に下る南側に貝塚という若干の地籍があり貝塚橋とよぶ小さな橋が残っています。この貝塚は大正時代に鳥居龍藏氏等によって発見されたもので、シジミを主体とする淡水産の貝と、縄文前期に属する打製石器が出土しました。

これは荒川右岸に鶴瀬、上福岡、下川崎と続く一連の貝塚の北限を示すもので、約六千年前の原始時代には、東京湾が、このあたりまで、深く湾入していたことを物語っています。しかし、鶴瀬や上福岡の貝塚からは海水産の貝が出てくるのに、この小仙波貝塚からは淡水産の貝しか出ていません。そのわけは縄文前期の頃、すでに東京湾が後退をはじめ、この辺はもう真水化していたからだと言明されています。



句会だより

石原町俳句会

風邪声の妻が指さす黄蝶々 政太郎
池の鯉うごかずにいる霜の朝 信雄
夕焼けを身に浴び帰る稲雀 末
短日や富士の影濃き日曜日 妙
廃品をくりて銀杏散りつくす 是
夕やけに柳や煙尾を引き立て えい
立冬やせしサボテン軒に入る まさ子
衿正しおおく活ける花ハツ手 ハマ
初水もみじをはめて日だまりに ちよこ
糸を解く母と語らう冬日和 栄子
刈り終えし田の面に桑山子一つ立つ とも
母逝きて今日が三とせの冬日和 花子
銀杏散る陶の艶なる寺の屋根 しずえ